令和８年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中 学 校（音 楽）

受験番号	中音楽	氏名	

注 意 事 項

1　「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
2　問題は、１ページから７ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
3　解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4　「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
5　退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
6　この問題用紙は、持ち帰ってください。

copyright2025_kyosai-guild.jp

※１は音楽を聴いて答える問題です。

1　これから聴く旋律を解答用紙に書きなさい。なお、調、拍子、小節数は以下のとおりである。

d －moll（ニ短調）、４分の４拍子、８小節

・調号、拍子記号は自分で書くこと。
・旋律は、８小節を通して、全部で４回繰り返す。
・曲間は、10秒とする。

copyright2025_kyosai-guild.jp

2　第３学年において、「世界の諸民族の音楽のよさや美しさを味わって聴こう」という題材を設定し「Ｂ鑑賞」の学習を行った。以下は、生徒が学習したことをまとめたワークシートである。次の(1)～(5)に当てはまる国名・地域名や音楽の名称等を【選択肢】の中から選び、記号で答えなさい。

【生徒のワークシート】

国名・地域名	音楽の名称等	楽器名・演奏形態名	特徴等
インドネシア	（１）	インドネシアに伝わる金属製の打楽器を中心とした合奏	もともと宮廷音楽として発展。舞踊劇や人形劇の音楽としても演奏される。
（２）	オルティンドー	馬頭琴による伴奏と歌い手	節のない音楽でコブシのような細かい節回しが特徴の民謡。
トルコ	（３）	ボルやズルナといった管楽器 ダブルやジルといった打楽器	古くから伝わる軍楽隊。 式典や祭礼などで演奏する。
（４）	フラメンコ	歌とギター演奏と踊り	踊り手は、手拍子をしたり、足を踏みならしたりしながら踊る。
南アメリカ アンデス地方	（５）	ケーナやシークなどの笛 いろいろな弦楽器や太鼓等	アンデス地方に伝わる音楽。 歌が加わることもある。

【選択肢】

a. ケチャ	b. フォルクローレ	c. スペイン	d. ガムラン	e. アルゼンチン
f. アルフー	g. メヘテルハーネ	h. モンゴル	i. アリラン	j. 中国

copyright2025_kyosai-guild.jp

3　第３学年において「音の特徴や重なりを感じ取って、ボディーパーカッションのリズムアンサンブルをつくろう」という題材を設定し、２人組でＩＣＴを活用した「A表現（創作）」の学習を行った。【資料１】は創作の課題や条件である。後の (1)～(3)の問いに答えなさい。

【資料１】

○ ４分の４拍子、８小節、２声のまとまりあるリズムアンサンブルをつくる。
○ ３つの音素材（手拍子、ひざ打ち、足踏み）を全て使う。
○ ４つのリズムパターン（A～D）を全て使う。
○ ３種類のリズムの重なり方（同じリズムを重ねる、同じリズムで掛け合いをする、違うリズムを重ねる）を用いて構成を工夫する。

(1) 題材の導入において、３つの音素材（手拍子、ひざ打ち、足踏み）を実際に試し、感じ取ったことを話し合う活動を取り入れた。その意図を書きなさい。

(2) 生徒がリズムアンサンブルをつくる際の参考となるように、「２人の会話」というテーマで教師の作品を例示したい。次の①～③の問いに答えなさい。

① はじめに、リズムアンサンブルに用いる４つのリズムパターンをつくることとした。１小節分のリズムパターンをつくり、Dに音符で示しなさい。なお、A～Cのように、使用する音素材を解答用紙の［　　］部に書くこと。

【リズムパターン】　　※て＝手拍子　ひ＝ひざ打ち　あ＝足踏み

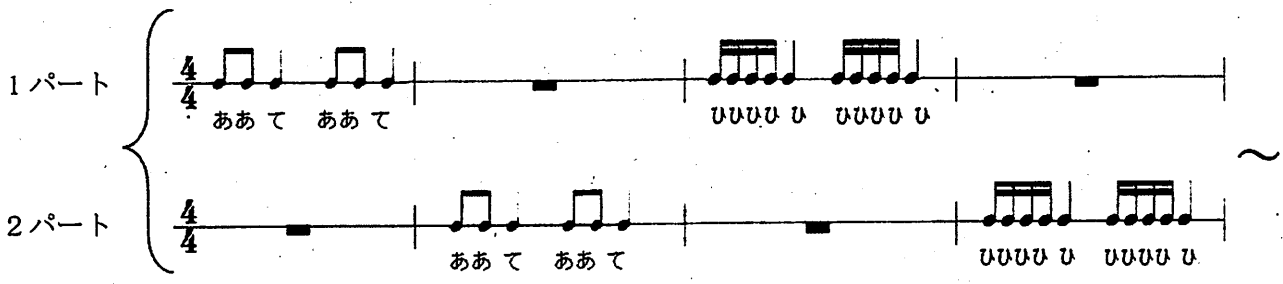
A　ああ て　ああ て

B　ひひひひ　ひひひひ

C　てて　て て

D

② 次に、「２人が出会って挨拶をする場面」をイメージして、前半の４小節を創作した。このリズムアンサンブルの工夫点を、イメージとリズムの重なり方を関連付けながら説明しなさい。



③ 【資料１】の課題や条件とテーマを踏まえ、後半の４小節を創作しなさい。なお、使用する音素材を解答用紙の［　　］部に書くこと。

(3) ＩＣＴを活用して完成させた作品を、実際にボディーパーカッションで表現しようとしたところ、多くの生徒につまずきが見られた。考えられる原因を示し、創作過程で必要な指導上の留意点を書きなさい。

copyright2025_kyosai-guild.jp

4　第２学年において、「情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌おう」という題材を設定し「夏の思い出」を教材に「Ａ表現（歌唱）」の学習を行った。後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 作曲者名を漢字で書きなさい。また、この作曲者が作曲した童謡を一つ挙げ、曲名を書きなさい。

(2) 生徒が一度全曲を通して歌ってみたところ、ある生徒が「この曲には強弱記号がたくさん付いている。」と発言した。そこで、教師は「なぜ、強弱記号がたくさんついているのでしょう。」と発問した。この発問の意図を書きなさい。

(3) Ａの部分における強弱の変化が生み出す雰囲気を、生徒が実感を伴って理解できるようにするための学習活動を書きなさい。

(4) Ｂの音程を答えなさい。

(5) Ｃ　　が表す情景はどのようなものか書きなさい。

copyright2025_kyosai-guild.jp

(6) １段目と４段目の※　　の部分を比較し、それぞれにふさわしい歌い方を考える活動を行った。以下は、生徒の発言をまとめた板書である。後の①～③の問いに答えなさい。

【生徒の発言をまとめた板書】

① （ア）、（イ）のような音のつなぎ方の名称をそれぞれ書きなさい。

② （ウ）に当てはまる音楽記号とその意味を書きなさい。

③ （エ）について、予想される生徒の考えを書きなさい。

copyright2025_kyosai-guild.jp

5　第１学年において、雅楽「平調 越天楽」－管絃－を教材に「雅楽の音楽の特徴を感じ取って、雅楽のよさや美しさを味わおう」という題材を設定し、次のような指導計画を立てた。後の（1）～(7)の問いに答えなさい。

【指導計画】

時	◆ねらい　○主な学習活動
1	◆雅楽の音楽の特徴に関心をもつ。 ○**（あ）雅楽「平調 越天楽」－管絃－を視聴し、**雅楽の音楽の特徴や音楽以外の特徴について、気付いたことや感じ取ったことを意見交流する。 ○**（い）雅楽の歴史や演奏楽器**を知り、個々の楽器の写真や映像を見て特徴をつかむ。 ○題材の課題を設定する。
2	◆旋律、テクスチュア、リズム、速度を知覚・感受しながら、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ○**（う）篳篥（ひちりき）の唱歌（しょうが）を聴いたり体験したりして、**気付いたことや感じ取ったことを意見交流する。 ○**（え）「吹物と弾物のテクスチュア」「打物のリズム」「全体の速度の変化」について着目して聴き、感じ取ったことをワークシートに書く。**
3	◆楽器の重なり方の特徴を生かして、雅楽「平調 越天楽」－管絃－の冒頭部分をグループで演奏する。 ○雅楽「平調 越天楽」－管絃－の冒頭部分の篳篥と打物の動きについて、映像を見て確認する。 ○**（お）雅楽「平調 越天楽」－管絃－の冒頭部分を、篳篥の唱歌と打物の代用楽器（バスドラム・締太鼓・当たり鉦（かね））を用いてグループで演奏する。**
4	◆雅楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿**（か）**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ○題材の学習を振り返る。

(1) 本題材は、「A表現」と「B鑑賞」 の関連を図って、指導計画を作成した。このことについて、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　音楽編」の「第４章　指導計画の作成と内容の取扱い」「１　指導計画作成上の配慮事項」では、以下のように示されている。**a**、**b**に当てはまる語句を書きなさい。

> (4) 第２の各学年の内容の「A表現」の(1), (2)及び(3)並びに「B鑑賞」の(1)の指導については, それぞれ（　　**a**　　）のみに偏らないようにするとともに, 必要に応じて, （　　**b**　　）を要として各領域や分野の関連を図るようにすること。

(2) 第１時の**（あ）**の活動に入る前に、小学校第６学年で学習した「越天楽今様」を歌うこととした。その意図を書きなさい。

copyright2025_kyosai-guild.jp

(3) 第１時の（**い**）について、Ⅰ～Ⅳに当てはまる最も適切な語句や楽器名を【選択肢】の中から選び、記号で書きなさい。

雅楽は、日本古来の音楽と朝鮮半島や中国大陸などから伝来した音楽とが融合し（　Ⅰ　）時代中期に完成した日本の伝統音楽である。宮廷音楽として発達し、今日もなお、日本の宮中および（　Ⅱ　）で演奏されている。また、日本最古のオーケストラともいわれ、雅楽「平調 越天楽」－管絃－では、笙・（　Ⅲ　）・篳篥の吹物、箏・（　Ⅳ　）の弾物、そして、鉦鼓・太鼓（楽太鼓）・鞨鼓の打物の編成で演奏される。

【選択肢】

ア. 竜笛	イ. 奈良	ウ. 鎌倉	エ. 廻り舞台	オ. 尺八	カ. 古箏	キ. 長胴太鼓
ク. 三味線	ケ. 平安	コ. 篠笛	サ. 神社・仏閣	シ. 締太鼓	ス. 琵琶	セ. 見台

(4) 第２時の（**う**）の活動について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 唱歌（口唱歌）について簡潔に説明しなさい。

② 唱歌（口唱歌）を用いるよさを書きなさい。

(5) 第２時の（**え**）の活動の際、生徒Ａは、全体の速度の変化について「始めは、ゆっくりだが、途中からだんだん速くなった。最後は、ゆっくりと終わった。」とワークシートに記入した。このことを表す日本音楽の用語を漢字で書きなさい。

(6) 第３時の（**お**）の活動において、生徒に気付かせたいことを具体的に書きなさい。

(7) 第４時の（**か**）で考えられる鑑賞の主な学習活動を書きなさい。なお、第４時は、題材のまとめの過程であることを踏まえること。

copyright2025_kyosai-guild.jp

音楽　　解答用紙	2枚中の1	受験番号	中音楽	氏名	

（8年）

※欄には記入しないこと

1

※

2

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	

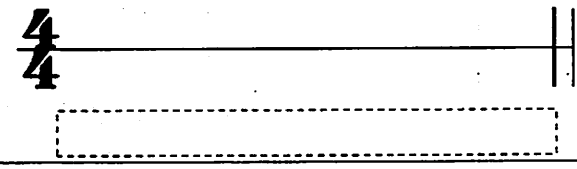
※

3

(1)

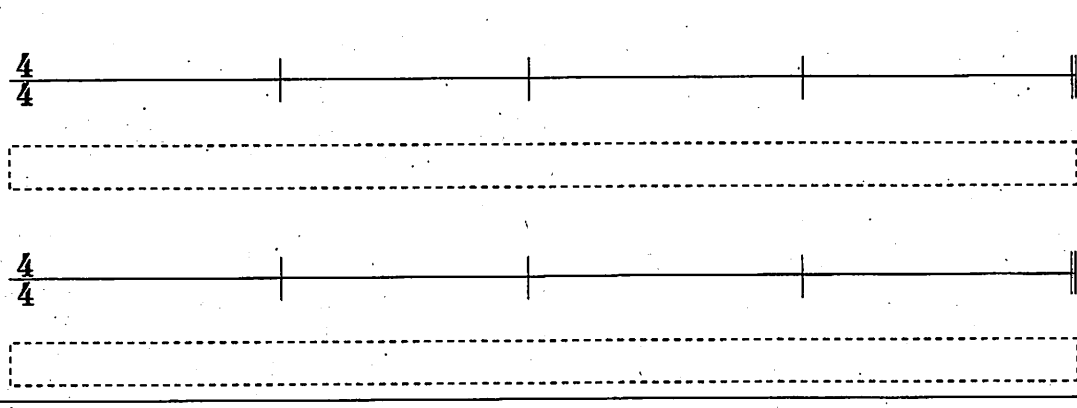
(2)

①



②

③



(3)

※

copyright2025_kyosai-guild.jp

音楽　　解答用紙	2枚中の2	受験番号	中音楽	氏名		（8年）

※欄には記入しないこと

4

(1)	作曲者名：		曲名：		※
(2)					
(3)					
(4)					
(5)					
(6)	①	(ア)		(イ)	
	②	音楽記号：		意味：	
	③				

5

(1)	a			b				※
(2)								
(3)	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	
(4)	①							
	②							
(5)								
(6)								
(7)								

copyright2025_kyosai-guild.jp

以下はあくまでも解答の一例です

音楽　解答用紙	2枚中の1	受験番号	中音楽	氏名		（8年）

1　（２０点）



2

(1)	d	(2)	h	(3)	g	(4)	c	(5)	b

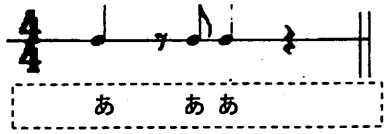
各４点（計２０点）

3

(1)　（例）
音素材による音質の違いを感じ取れるようにするため。（８点）

(2)

①　（例）



（６点）

②　（例）
前半の４小節は、２人が出会って挨拶をしている様子を表すために、同じリズムで掛け合いをした。
（１０点）

③　（例）（１６点）



(3)　（例）・ＩＣＴの操作のみで創作していたため、リズムが複雑になったことが原因だと考える。創作過程では、実際に音を出して確認しながら創作するように助言する。
・リズムを正確に打つ技能が不足していたことが原因だと考える。創作過程では～（以下、上と同じ）（１０点）

copyright2025_kyosai-guild.jp

以下はあくまでも解答の一例です

音楽　　解答用紙	2枚中の2	受験番号	中音楽	氏名		（8年）

4

(1)	作曲者：中田　喜直			曲名：「めだかのがっこう」「ちいさい秋みつけた」「雪の降るまちを」など		各3点（計6点）
(2)	（例） 強弱と歌詞の内容との関わりに気付くことができるようにするため。 （6点）					
(3)	（例）・mpからppにした場合と、そうでない場合とを比較して確かめながら歌う活動。 ・水芭蕉の花がどのように咲いているか想像しながら、様々な強弱で歌い方を試す活動。 （8点）					
(4)	減5度（4点）					
(5)	（例） シャクナゲの花の色のように日が暮れる。 （6点）					
(6)	①	（ア）	順次進行（3点）	（イ）	跳躍進行（3点）	
	②	音楽記号：フェルマータ（3点）		意味：その音符をほどよく伸ばして（3点）		
	③	（例）・音の動きが大きく、テヌートやフェルマータがついているので、尾瀬が広く遠く広がっている様子が伝わるようにのびやかに歌いたい。 ・音の動きが大きく、クレッシェンドがついているので、尾瀬を懐かしむ気持ちの盛り上がりが伝わるようにのびやかに歌いたい。 （8点）				

5

(1)	a　特定の活動（4点）			b　〔共通事項〕（4点）					
(2)	（例）・「越天楽今様」を歌うことで、合奏の中の主旋律に気付けるようにするため。 ・「越天楽今様」を歌うことで、合奏の中の主旋律が分かり、重なり合っている他の楽器の特徴に気付けるようにするため。 （6点）								
(3)	Ⅰ	ケ	Ⅱ	サ	Ⅲ	ア	Ⅳ	ス	各4点（計16点）
(4)	①	（例）・楽器の音を日本語のもつ固有の響きによって表したもの。 ・楽器の奏法や音の感じなどを言葉で表したもの。 （6点）							
	②	（例）・我が国の音楽固有の音色や旋律、間などの知覚・感受を促すことができる。 ・旋律やリズムを覚えたり伝えたりすることができる。 （6点）							
(5)	序破急　（4点）								
(6)	（例）・実際に唱歌を歌ったり代用楽器での演奏を取り入れたりすることで、拍の感じ（間）に気付かせたい。 （雅楽特有の音楽の構造に気付かせたい。） （6点）								
(7)	（例）これまでの学習で習得した知識を踏まえて、雅楽「越天楽」を全曲通して鑑賞し、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠としてあげながら、よさや美しさについて紹介文にまとめる活動。 （8点）								

copyright2025_kyosai-guild.jp